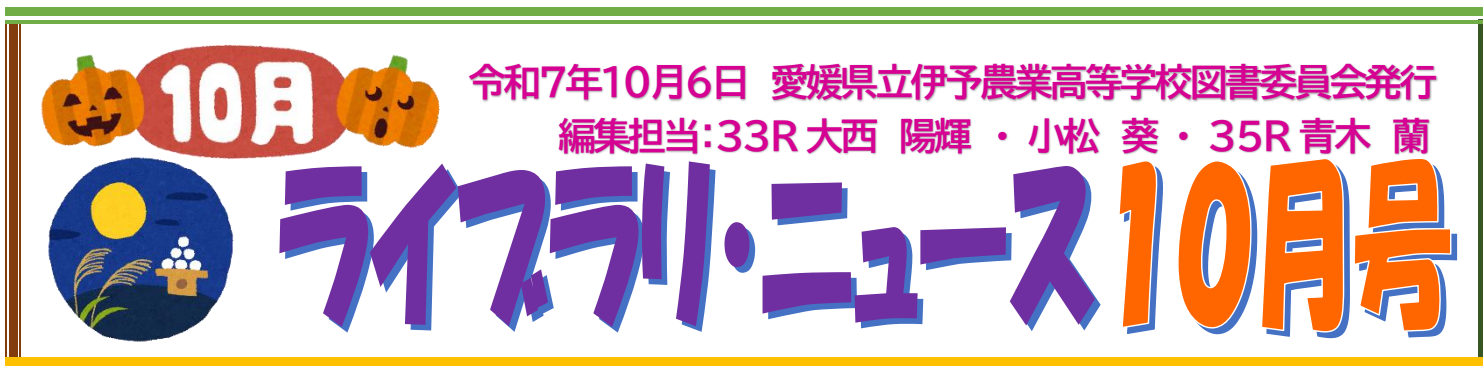




「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、朝夕はずいぶん涼しくなりましたが、日中は相変わらず真夏のような日が続いています。でも、伊予農産の梨や栗を味わい、稲刈りの終わった田んぼを見るにつけ、秋は確実にやってきているのだと感ずることが出来ます。少し涼しくなった、澄んだ空気を胸いっぱい吸い込むと、なんだかエネルギーが満ちてきて、色々なことに挑戦してみたくなりますね。3年生は就職や入試が本格的になってきて、2年生は待ちに待った修学旅行を迎え、学校全体としては、勉強や部活動が充実してくる時期です。

さて、秋といえば、「読書の秋」。読書週間が10月27日(日)から始まります。さわやかな朝読書の時間や授業の前、秋の夜長は、本を読むにはぴったりです。心を整えて、静かに本と向き合ってみませんか。



**第79回読書週間:10月27日(月)～11月9日(日)**

**標語:『こころとあたまの、深呼吸。』**



読書週間の歴史「読書推進運動協議会 HP より」

終戦まもない1947年(昭和22)年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい 感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。(ポスター、マーク画像も読書推進協議会 HP より)



**図書委員会主催の Event 情報 ☆Don't miss it!☆**



**Event その1 ビブリオバトル伊予農チャンプ本決定戦**

- ★日時: 10月6日(月) 15:55～16:30予定 (各種委員会の時間ですが、一般の参加大歓迎!)
- ★場所: 図書館
- ★学年代表選を勝ち抜いた6名による、伊予農チャンプ本決定戦です。各学年代表は、14R 赤石さん、16R 高木さん、21R 平岡さん、26R 上田さん、33R 小松さん、35R 高橋さん です。生徒のみなさん、先生方の御参加、お待ちしております!!



**Event その2 紙面 de ビブリオバトル@農業祭!**

- ★日時: 11月8日(土) 農業祭 9:30～12:30
- ★場所: 武道場(図書委員会の展示場所)
- ★図書委員による「おすすめ本」ポスターを見て、「一番読みたい!」と思った一冊に投票してもらい、「紙面 de ビブリオバトルチャンプ本」を決定するイベントです。投票してくれた、先着200名にフェアトレードチョコレートを進呈します! こちらも御参加、お待ちしております!!



**図書委員おすすめ本!「読書の秋に読みたい本」**



★ 33R 大西 陽輝 さん おすすめ★

『秋の牢獄』 恒川 光太郎/著

- ★ 普通の女子大生が、同じ一日をループする世界で、同じ境遇の仲間と出会い、別れる話。

『贖罪』 湊 かなえ/著

- ★ 15年前に田舎町で起きた少女エミリの殺害事件を背景に、事件を目撃した4人の少女たちの運命と償いの話。



★ 33R 小松 葵 さん おすすめ★

『僕が愛したすべての君へ』 乙野 四方字/著

- ★ 平行世界を移動できる機械を使ったラブストーリー。

どちらを先に読むかで、結末が変わります!

『君を愛したひとりの僕へ』 乙野 四方字/著

- ★ 上の本の、別の平行世界の物語。好きな人が機械で眠ってしまった、少し悲しい物語。

★ 35R 青木 蘭 さん おすすめ★

『方舟(はこぶね)』 夕木 春央/著

- ★ 地下建築に閉じ込められた人々が、生き残りをかけて心理戦を繰り広げるミステリー小説。

『小説 忍たま乱太郎 ドクタケ忍者隊最強の軍師』

阪口 和久・尼子 騷兵衛/著

- ★ 失踪した土井先生を探し、敵(ドクタケ)と戦う。笑いあり、涙ありの物語。

